

中東時事アップデート

アミール・ツアルファティ

- 今日の出来事・聖書預言の中のリビア -

YouTube:[中東時事アップデート](#)

さて、世界のさまざまな場所から、たくさんの方がご覧くださり、とても楽しみです。アブダビ、オランダ、ノルウェー、イギリス、そしてアメリカとカナダのいたるところから、オーストラリア、ニュージーランド、フィリピン、そして台湾、日本、シンガポールからも。素晴らしい！皆さんに会えて、素晴らしいです。始める前に、ミニストリーについてお伝えしたいと思います。先週、いくつか新しい事を始めました。まずはじめに、Young Adults Discipleship (若者弟子訓練) ズームミーティングに、かなりの人が集まりました。敵は、若い人達を狙っています。大学生の年代の若者達を狙って、敵は、大学構内であれ、ソーシャルメディアを介してであれ、彼らを洗脳し、彼らに教え込んでいます。だから、私達は、彼らに神の御言葉の真実を伝えたいのです。そこで、私達はこの、young adults' discipleship (若者弟子訓練) “YAD”を作成しました。インスタグラムでフォローできます。若者のための、特別にインスタグラム、Behold Israel Young Adultsです。専用のメールアドレスは、YAD@BeholdIsrael.org ぜひ、皆さんのご子息には、つながっていただきたいと思ひます。彼らのために特別なプログラムを用意して、神の御言葉の真実を与えて、彼らを励まし、弟子訓練したいと思ひています。

イスラエル時間の日曜日夜に始めた、もう1つの新しいことは、「預言ラウンドテーブル」です。ジャン・マーケルさんおよび、バリー・スタグナー牧師と一緒に、毎週、その時々トピックについて話し合い、前回は、聖書預言の重要性を伝えました。次の日曜日の話題は、教会の携挙について、さまざまなことについてお話しします。議論が終わったら、質疑応答も行います。ですので、皆さんぜひ…最初のラウンドテーブルは、すでにYouTubeとFacebookでご覧いただけます。

もう一つは、今週土曜日の朝、西アフリカ、ナイジェリアや、周辺諸国の国々の人々とズームでライブをしました。素晴らしかったです。次の土曜日は、インドネシア。世界最大のイスラム教国です。それでもまだ、たくさんクリスチャンがいるので、ぜひ、私達のズームミーティングに、ご参加ください。そしてもちろん、明日の夕方は、バリー・スタグナー牧師と一緒に、ここFacebookでQ&Aです。どなたでも大歓迎です。

それでは、中東で起こっていることについて詳しく見ていきましょう。これは中東時事アップデートですから、アメリカの話はしません。言いたいことはたくさんありますが、今は、その時ではないと思うので、中東についてお話しします。これは中東時事アップデートです。我々の北部の隣人、レバノン。リビアに触れる前にレバノンの、いくつか非常に重要なことについて話しましょう。皆さん、レバノンは、1920年代に設立されて以来、最悪の状況にあります。説明させてください。基本的に、破産している国の話です。彼らには、24時間の内、2時間しか電気がありません。たった2時間。今は、とても暑いです。夏です。人々は我慢できず、バルコニーで寝ています。つまり、国民に電気を提供するための発電所を運営する十分なお金がないのです。レバノンのリラは最低。発明されて以来、最低レベルです。レバノンの信用率は、ベネズエラより低いです。皆さん。そして、経済が十分でなければ、コロナウイルスがやって来て、残りを殺します。そして、誰もがヒズボラに腹を立てています。あちらにはイランの手があって、国を捕虜にしましたから。イスラエルは、常に、レバノンのヒズボラに容疑者扱いされています。私達は、常に非難され、すべての事が、我々のせいになっています。しかし今、レバノンのメディアで取り上げられているものをお見せしたいと思います。これを見てください。彼ら、レ



バノン人は、彼らの国からイランの影響力を追い出したいと考えています。彼らは、それほど、うんざりしているのです。イランは今、世界のあの地域で、大変な事になっています。ヒズボラの指導者であるハッサン・ナスラは、7月7日にスピーチを行い、次のように言いました。「我々は、今、悪い時期にあり、問題を抱えているので、“農業ジハード”を始める必要がある。屋上やバルコニーでも、どこでも栽培を始めなければならない。」そこで、国民はそのようなミームを始め、彼らは、彼をただ笑っています。見てください。こちらはオーガニックのバスケットを持っているハッサン・ナスラです。国民が彼の事を笑っているのです。「あなたがこの全問題を引き起こしておいて、今度は、農業の話ですか？」 「ヒズボラはレバノン政府の農業省を15年間保持して、なのに、あなたは何もしなかった。」と。ちなみに、それで足りないなら…これは、かなり面白かったですが、もちろん、これがあります。ロケットを発射できるなら、この新しいジハードでキュウリとナスを発射しよう。レバノン人自身が、ヒズボラが最大の問題であることを理解していることは明らかです。「彼らは、言うことと、やることがバラバラで、だから、我々は問題を抱えている。」



次に、私は本当に彼らを気の毒に思います。彼らは今、空腹で、つまり、飢餓の話です。人々は食べる物がなく、レバノンは現在、飢餓に苦しむ場所として国連によって追加されています。イエメンに飢餓があり、アフリカの一部に飢餓があり、現在はレバノンです。信じ難いですが。そのような先進国を、ヒズボラが台無しにしたのです。これらは暴政の結果です。これはイランの影響の結果です。ちなみに、レバノンのイラン大使はテレビに出演して、基本的に、「イランは、レバノンを助けたい」と言っていました。そして、レバノンのジャーナリストは言いました。「イランが居る所はどこも、レバノンであれ、シリアであれ、イラクであれ、イエメンであれ、助けにはならず、ただ問題と破壊をもたらすだけだ。あなたが建てた病院を1つ見せてください。あなたが作った学校を一つ見せてください。あなたがした良い文化的なことを1つ教えてください。あなたは、私達に、ただ破壊と苦しみと悲慘さをもたらすだけだ。私達の国から出て行け！」それが、現在のレバノンの厳しい状況です。

それで十分でなければ、皆さん、昨日、イスラエル政府は、1月にキプロスとギリシャとの間で締結された、「East Med」と呼ばれる、ガス管に関する三者協定を承認しました。お見せしましょう。これは、イスラエルからキプロス、そしてギリシャ諸島ギリシャ本土、そこからイタリア、そして西ヨーロッパにまで至るガス管です。これで、わかりますね？ロシアが来て、略奪し、戦利品を奪おうとする時、そして、彼らが略奪して盗むことを望む時、イスラエルが持っているガスは、トルコやその他にとって、単なる頭痛の種ではありません。ロシアは今、画面に表示されているものに脅かされています。ロシアはヨーロッパへのガスの最大の輸出国ですが、それが今や大きな強豪が近づいていて、しかも米国が、それを奨励しているのです。そしてもちろん、先週トルコを扱ったときにそれについて話しましたが、私は、彼を“スルタン・エルドアン”と呼びますが、そのトルコ政府、彼はリビアと架空の契約に署名したのは、トルコからリビアへの通路、誰も渡ることはできません。彼は、トブルクやベンガジ、それらの場所にトルコと全く取引していない、別の政府があることを忘れていました。実際、その異なる政府は、前回それについて話しましたが、ギリシャと協定を結びました。ほら、ご覧ください。ギリシャはリビアの一つ政府と取引しており、トルコはリビアの別の政府と取引しています。そしてその中間で、イスラエ



ルは、すでにキプロスを経由してイスラエルからギリシャ、それからるかイタリア、そして西ヨーロッパに至るまで協定を結びました。皆さん、これが、これからお話しするリビアで現在起こっていることの背後にあるものです。

ですから、多くの事が舞台裏にあるのです。それを理解しなければなりません。ちなみに、アメリカは、信じ難いかも知れませんが、イスラエルがシリアで攻撃しているだけではなく、米国は、イラクとシリアの国境の、地下トンネルにいくつかの空爆を開始しました。イマムアリ基地のアルブカマルの地域では、ほとんどヒズボラですが、しかし、イランの民兵も、そこを塹壕で固め、地下トンネルを掘って、すべての装備をそこに持ち込んでいました。そしてアメリカは…見てください。イスラエルが、そこを攻撃するのは、週に1回か2回です。アメリカは、過去3日間に、そこで3回攻撃し、地上に数十人の犠牲者を残しました。それで足りないなら、シリアのアレッポの北部、シリア北部でアメリカのドローンが「忍者ロケット」と呼ばれるものを送りました。ちなみに、これは爆薬さえも付いていません。ただ非常に高速で車の窓にぶつかり、中のすべてのものを破壊します。そしてアメリカは、シリアのその特定の地域でISISの3人の指導者を殺しました。信じられないかも知れませんが、ISISの空間が、まだそこにあります。イラクでは、もう一つの混乱があります。皆さん、理解しなければなりません。イラクは、アラブのシーア派で構成されていて、世界で第3のシーア派イスラム教徒の聖地は、イマームアリが埋葬されている、イラクだけではありません。ですからイラクは、シーア派にとって非常に重要な場所なのです。しかし、イラクはアラブ系イスラム教徒です。イランが、ペルシャ人であるのに対して。ですから、ペルシャ系シーア派と、アラブ系シーア派には、シーア派に関しては多くの共通点がありますが、しかし、部族の所属に関しては、彼らは、お互いが気に入りません。ペルシャ人に、あなたはアラブ人だとか、アラブ人に、あなたはペルシャ人だとか言うてはいけません。ですから、アラブ系シーア派とペルシャ系シーア派の間には、多くの緊張関係があることがわかります。

また、アル＝カーズィミー新首相と、イラン支援の民兵の間にも緊張があります。アル＝カーズィミーは、すべての民兵からのすべての武器を取り囲んでいますから。彼は支配権を握っており、米国にも後援されています。非常に重要なことです。という事で、イラクで、興味深い発展があります。ちなみに、アル＝カーズィミーは、サウジアラビアを訪問する予定です。彼は、今日、サウジアラビアにいるはずだったが、サウジアラビアの王が入院し、サルマン王は、今日入院しているため、彼の訪問を延期する必要がありました。もちろん、彼は、いつかアメリカも訪れる予定です。

さて、もう一つお伝えしたい事、次は、イランに行きましょう。くり返しますが、リビアについて話す前に、これらすべての国を取り上げます。イランで、さらに多くの場所で、さらなる爆発が起きています。発電所、ブシェフル原子力発電所の隣の造船所、工場、ガスパイプラインで、ほぼ毎日、爆発が起っています。今日、イランの大臣の一人が言いました。「ほら、ナタンズの爆発は、別の国でも出来たと思うが、他はそうではない。」なぜ、彼はそれを言っているのか？基本的に、毎日イランをターゲットにしているある国が、イランのインフラのすべてにアクセスしていることをイランが認めるなら、イランは決して報復することができません。イランは理解しているのです。彼らが何かをした瞬間…ほら、もしそれがイスラエルなら、イスラエルはボタン一つで発電所を爆破することができ、そこに行かずに、多くのものを爆破することができます。イランは、ナタンズで行われたことはすべて、無人航空機である。UAVによって行われたと主張しています。したがって、それを行った者を特定することは非常に困難だ、と。私は、それを認めたり、誰が何をしたかを言うつもりはありません。ただ、誰が、なぜ、どのようにそれを行ったのかを、理解するだけの知能は、あなたにもあるはずですよ。

それでは、エジプトに移りましょう。皆様、エジプトは、現在非常に厳しい状況にあります。エジプトは現在、2つの異なる国境で、試練に直面しています。リビアと国境を接している、西部のエジプト側は、リビアで起こっていることに脅かされています。そしてその南側では、エチオピアが建設した再建ダム運用を開始するというエチオピアの決定に脅かされています。彼らは今、巨大な貯水池を、ナイル川の水で満たしていて、エジプトに流れ込む水量が、はるかに減っているのです。エジプトは、農業とナイル川沿いの農民をナイル川に完全に依存しています。だから、もし10%でも減れば…今話しているのは、少なくとも50%のナイル川が流れなくなるのです。そうすれば、それはエジプト人にとって大惨事になるでしょう。皆さ

ん、エジプトと隣接する国境で、現在、エジプトが問題なく信頼できる唯一の国はイスラエルです。そして、エジプトはイスラエルと和平があります。イスラエルは、シナイのエジプトが、ISISやその他のテロ要素と戦うのを手伝っています。先ほど申し上げたように、エジプトは私達の味方です。

ヨルダン、彼らが私達との国境よりも優れた、安全な国境はないことを理解しています。そしてレバノン、ほとんど存在しません。シリアは存在しません。そして、エゼキエルが言う次の戦争は、どこも、イスラエルが国境を共にしている国ではありません。そうでなく、これまで私達と戦ったことのない第2層の国々、私達と国境を共にしていない国々です。つまり、リビアとスーダン、そしてもちろん、ロシアと、トルコ、イランです。これらは、イスラエルとの国境のない国です。それが、私達と国境を共にする国々について語る詩篇83との主な違いであり、それは、1948年と1967年に実現されました。そして、今日の私達がいるエゼキエル38戦争は、イスラエルとの国境のない国々との将来的な戦争です。



さて、先ほど言ったように、エジプトは、リビアとの国境に何百もの装甲車を送っています。リビアの議会が、彼らに助けを求めた為です。では、どのようにして、誰を、なぜ助けるのか？ここで、リビアについて話します。皆さん、リビアの地図を画面に表示します。私達が話していることが理解できるでしょう。さて、注目してください。非常に興味深いですから。リビアの歴史について、少しお話しします。もちろん、聖書についてもです。しかし、ヒラリー・クリントンとバラク・オバマが介入し、前例のないことを、

し始めた時点の話をしてします。

その前に、今のこの地図を見てください。これはリビアの地図です。この地図に、いくつか色付けされているのが見えるでしょう。緑色のものが一番上にあると思います。これは一つの政府です。ピンクがかかった色の主要なものがあります。これは別の政府です。下部には、他の部族がいくつかあります。とても面白いものを見てください。リビアとイタリアの距離を見てください。リビアが、ギリシャに、どれほど近いか見てください。なぜ、リビアが、そのような重要な資産であるかを見てください。リビアを支配する者は、誰でも、基本的に、ヨーロッパで起こることすべてに影響を与えます。実際、将来リビアを支配する者は、おそらく、ヨーロッパ出身でしょう。しかし、理解する必要があります。イランと、イラクとトルコの間の架け橋であるシリアとは異なり、リビアは、地域全体とヨーロッパをつなぐ役割を担っています。それを理解する必要があります。なぜなら、ムアンマル・アル=カッザーフィー、1959年から2010年までの41年間リビアを統治した、カダフィ大佐、ムアンマル・アル=カッザーフィーは、ヨーロッパ人に「私がバリアだ」と言い、彼が使っていたものを見てください。彼は、今日のBlack Lives Matterでは、使うことができない言葉を使いました。彼は言いました。「ヨーロッパが黒くなるのを止めているのは私だ」彼が、そう言ったのです。ちなみに、私は、その書面を持っていますので検索できます。これらは、彼が言った言葉です。基本的に彼は言ったのです。「私が、アフリカ人不法移民のヨーロッパへの流入を止める。そして、私が望めば、実際に、彼らを行かせる事が出来るのだ。」そして終わりに向かって、彼は実際に始めました。これを見てください。彼は、イタリアと契約を結びました。移民を止める為に、年間50億ユーロを支払わなければならない。実際、ここで、これを見ることができます。ここで彼は、基本的に、次のように述べています。「ヨーロッパが黒くなる事を阻止するために、カダフィが要求した年間50億ユーロについて、リビアと会談する委員会の責任者。皆さんも、ご覧になれます。そこに書いてあります。ですから、はっきりと分かります。リビアの位置は、一方がエジプトの隣、もう一方がアルジェリアと、チュニジアの隣で、どれほど近いか見てください。見てください。ボートに乗って、半日以内には、すでにイタリアに到着出来るのです。ちなみに、移民の人身売買業界は非常に大成功しており、イタリアのマフィアにとっても、反対側の人間にとっても



高利益をもたらしています。実際、言うておきますが、ジョージ・ソロスが、彼らが「人権団体」と呼ぶものに資金を与え、彼らを迎えに行き、ヨーロッパに入るようにしています。頭数に応じて、彼は支払っているのです。ですから、これは彼にとっては、「移民支援」です。彼が、そう言っているのです。しかし実際には、彼はヨーロッパを破壊し、ヨーロッパのすべての国境を、消去したいと考えています。そして、これはまさに、彼の出身国であるハンガリーを含むヨーロッパのいくつかの国が、彼を非難する理由です。という事で、ここで確認できます。

では、リビアの歴史について、少しお話ししましょう。さて、念のために言うておきますと、リビアは、聖書で言及されています。ダニエルの書で、「リビア」として言及されています。しかし、新約聖書では数回登場していて、マタイ27章にシモンというクレネ人が登場しますが、クレネはリビアの北東部沿岸です。それはリビアの一部です。もちろん、使徒の働き第2章では、ペンテコステの日にはリビアの敬虔な人たちが、エルサレムに居た事が分かっています。そして彼らは、使徒ペテロが聖霊の力によって福音を説くのを聞き、その日、約3000人が、罪を悔い改めて、完全に献身しました。そして、彼らの出身地の説明があって、それが、その1つであることがわかります。使徒の働き11章。

「その中にキプロス人とクレネ人が幾人かいて、アンテオケに来てからは、ギリシヤ人にも語りかけ、主イエスのことを宣べ伝えた。」 (20節)

使徒の働き13章、

「さて、アンテオケには、そこにある教会に、…クレネ人ルキオ、…がいた。」 (1節)

だから、クレネはリビアの一部で、現在は、反乱軍の一部ですが、間違いなくそれです。もちろん、エゼキエル38章では、「クシュ」と「プテ」が登場しますが、「クシュ」はエチオピア、今日のスーダンで、プテはリビアです。そして、なぜプテがリビアなのか。歴史家のフラウィウス・ヨセフスが、彼の有名な著書「ユダヤ古代誌」に書いています。「プテ」または「プット」は、古代リビオス、つまり古代リビアで、その地域の現代国家の領土には、アルジェリアやチュニジアも含まれる可能性があります。ダニエル11章。第11章の終わりに反キリストが登場しますが、南の王と北の王がいることがわかります。この章の最初の部分では、ギリシヤ帝国の過去の出来事について語っています。しかし、章の後半、35節以降では、実際に後に興る王について語っていて、彼は、美しい国、イスラエルの国に入ります。彼は、その手を他の国々に対して伸ばしますが、その一つが、リビアであることが分かっています。リビアとエチオピアが、同様にそこで言及されています。という事で、皆さん知っておいてください。聖書的にリビアが何度か言及されています。カルタゴ人、それ自体が帝国だった島、カルタゴです。そしてペルシヤ人、エジプト人、ギリシヤ人、ローマ人、ビザンチンがそこにいて、ムスリムがそこにいて、オスマン帝国がそこにいました。

そしてなんと、1911年から1934年にかけてリビアはイタリアの領土でした。それを覚えていてください。イタリアの領土です。覚えていてください。なぜ、私はそれを言っているのか？反キリストが、西ヨーロッパから来るなら、彼は、復活したローマ帝国から出ることを覚えていてください。それは、その地域から出る必要があります。そしてそれは、イタリアのトリポリタニアとイタリアのクレナイカに分けられた、イタリアの領土でした。そしてもちろん、それが1934年から1937年に統一されたとき、それは、イタリアのリビアで、第二次世界大戦終了後の1951年に、それは独立しました。1969年、軍事クーデター。それは、狂った男だったカダフィ大佐によって制御されました。彼はクレイジーなことをたくさん行いました。しかし、一つ言うておきますが、リビアの部族は彼を尊敬していて、そして、この男は取引を知っていました。彼は、取引にとっても詳しく、彼が取引をよく知っていた事が問題となって、彼は最終的に殺害されました。

そこで、皆さんの多くが、おそらく聞いたこともない歴史の章を、お話ししたいと思います。2009年、カダフィ大佐は、当時、リビアの大統領または指導者であっただけでなく、アフリカ連合の総会議長でもありました。そして彼は、アフリカ大陸の諸国に、アメリカドルから独立して、新しい通貨に切り替えるように提案し、それを、「金ディナール」と呼びました。皆さん、理解してください。この新しい通貨の目的は、石油収入を、アメリカの銀行ではなく、国家が管理するファンドに向けることでした。言い換えれば、石油

取引へのドルの使用を停止することです。ナイジェリア、チュニジア、エジプト、アンゴラなどの国は皆、通貨を変更する準備が出来ていました。信じられないかも知れませんが、2009年の事です。そしてもちろん、覚えていますか？ 当時、誰もバラク・フセイン・オバマを尊敬していませんでした。だから彼らは、切り替える準備ができていたのです。そして、何が起こったのかと言うと、2011年3月、NATO主導の連合が、「自由」の名の下にリビアへの軍事介入を始めました。皆さん、リビアは他の国に侵入していません。リビアは他の国を攻撃していません。リビアは、ロシアがしていること、イランがしていること、トルコがしていることをしていません。彼らはしませんでした。リビア内で、彼ら自身の戦いがありました。チュニジアや、アルジェリアであったように。オバマがもたらしたアラブの春です。そして、何と、突然、NATOが侵略して来ます。彼らは理解しています。無料の水、タダ同然のガソリン、無料の健康システム、無料の教育は、カダフィ政権下のリビア人にとって当たり前のことでした。彼は国民の世話をしました。これが、彼の支配の仕方だったのです。41年間権力を握っていた指導者は、根本的な措置と、共有石油収入の政策を通じた、社会の平和によって、あらゆる主要部族の支持を得ていたのです。それから皆さん、理解しなければなりません。石油収入の優れた管理でリビア国家は、何百トンもの金、150トンの金塊と150トンの銀を貯蔵していました。さて、どうして私は、それを知っているのか？ありがたいことに、ウィキリークスを通じて、すべての証拠が見つかりました。それがなんと、誰かが侵入し、誰かがそれを奪った。

次に、皆さんに知って欲しいのは、これらの資源によって、リビアはアフリカで最も影響力のある国になり、例えば、フランスに取って代わろうとしていたのです。フランスは、アフリカに大きな関心を持っています。そして、フランスのサルコジ大統領は、当時オバマの下で国務長官であったヒラリー・クリントンに不平を言いました。そして、サルコジ大統領だけでなく、すべての銀行家、すべての金持ち一族、グローバルリストは、この、カダフィ大佐を見たくなかった。確かに、41年間、彼が支配していました。しかし、ここで何が起きているのか？彼らは、彼ら以外の他の誰かが、新しい通貨を始めることを許可しません。彼らは、アフリカへの投資のすべてを失いたくないのです。それで、NATOは侵入するように命じられました。お伝えしますが、カダフィ大佐は、彼の石油取引においてアメリカの影響を避けたくて、この金を使用することで、彼は金ディナールプロジェクトを開始し、他の主要なアフリカ政府は、このプロジェクトで、彼を支援する準備ができていました。それは、アフリカの夢であり、西側の金融システムの悪夢でもありました。この情報は、ヒラリー・クリントンの電子メールボックスを介して発見されました。覚えていますか？3000通のメールの1つは、NATOが、カダフィ大佐の政府を打倒する意欲を示し、NATOは、主にリビアの石油備蓄に支えられたアフリカの金貨を中和したいと考えていました。3月の初めに、リビア軍と政府に忠実な多くの民兵は、すでに反乱を打倒していました。数々の装備のおかげです。しかし、西側の介入により、金に基づいて、ドルに依存しない統一通貨システムの夢は消え去りました。何が起こったのかを、お見せしましょう。皆さんの多くは、それを知りません。皆さんの多くが、それを知りません。10月20日、ヒラリー・クリントンは、カダフィの生誕地であるシルテの街の隣で、飛行機から、精巧な武器をいくつか落とし、その武器を使ってカダフィがいる30台の車両の護送隊を攻撃、ほとんどの人が殺害されました。カダフィ大佐は、なんとか下水管に逃げ込み、後に彼の国民に捕らえられ殺されたのです。ただ、皆さんにあるものをお見せしたいと思います。彼女がこの出来事を説明したときの、ヒラリー・クリントンを見てください。これは、彼女がテレビ番組で行った2つのインタビューの間です。

レポーター：「これが未確認の動画の土地…」

ヒラリー：「我々は行き、見て、彼は死んだのよ。」

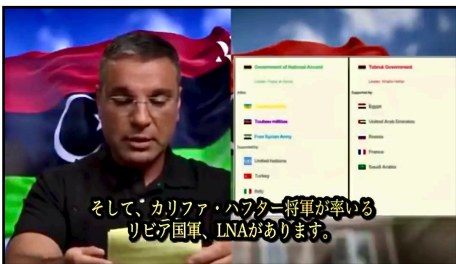
レポーター：「それは、あなたの訪問と何か関係しているのですか？」

ヒラリー：「ええ、確かに。」

ヒラリー・クリントンは言っています。「私達は行き、私達は見て、彼は死んだ」西側がカダフィ大佐を殺したことを、文字通り、認めています。それが、彼らの望みであったことを、文字通り認めたのです。国への侵入。ちなみに、その国は彼らに何もしていません。一度も侵入したことはありません。オバマ政権が、ロシアの共謀や何かについて何かを言う事が出来ますか？アメリカが行って主権国



を攻撃し、その指導者を殺すようにNATOに命じたのです。それが、そこで起こったことです。これで十分でなければ、もちろん、次にベンガジの話です。私達の全員が知る通り、ベンガジではヒラリー・クリントンが、ベンガジの米軍施設に収容されていたクリストファー・アンダーソン大使を、文字通り犠牲にしたのです。彼の顧問の1人と、2人の米海兵隊と共に。彼らは、そこから1マイル離れた別の場所で、テロ組織によって攻撃されました。オバマ政権は言いました。それは、単なる…それは、“9・11”ではなく、ただ、暴動があって、それがちょっと制御不能になっただけだ、と。しかし私達は、彼女のメールで発見したのです。ちなみに、ベンガジの話の全調査を通じて、ヒラリー・クリントンが、彼女自身のメールサーバーを持っていたことがわかりました。それが、2015年委員会と2016年の大統領選での彼女の敗北につながったのです。皆さん、ベンガジの調査と委員会のために、すべてが出て来たのです。皆さん、アメリカを攻撃するテロ組織の知識があることは明らかでした。どうして？これを聞いてください。アメリカは、現在リビアに居て、リビアは、もはや独裁者カダフィと一緒にではありません。大量の武器、大量の肩ミサイル、大量の爆発物、さらには化学兵器さえあります。そして、アメリカがオバマの時に何をしたかと言えば、アメリカは、アサドに敵対して、シリアで戦う人々を助ける為にリビアの武器を取って、シリアに密輸しました。そして、アメリカがリビアから持ち込んで、シリアに持ってきた武器を、誰が受け取ったでしょう？誰がそこで受け取ったと思いますか？正解です。バラク・オバマは、彼が殺したカダフィの武器でISISを武装させました。そして、これらすべてを隠すために、ヒラリー・クリントンは、それらすべてのメールを消去しなければなりません。そしてもちろん、今、私達が目にしている、その全てを。ここで何が起きているのか理解できましたか？分かりますか？リビアが、ヨーロッパや、その他の中東諸国の話、そして、この地域へのアメリカの関心において非常に重要な役割を果たすのです。



では、今日のリビアの様子を説明しましょう。今日、リビアには2つの政府があり、私が知っている限りでは、2015年に始まった・・・はい、2015年に設立された、国連支援の国家合意政府があります。そして、カリファ・ハフター将軍が率いるリビア国軍、LNAがあります。では見てみましょう。一つの政府の所在は？トリポリです。それは国民合意政府です。誰が彼らを支援しているか、見てください。国連、トルコ、イタリア、カタール。一方、油田の領土とガスのほとんどを支配している極めて重要なハフター将軍は、彼を支えているのは東からの仲間たちで、エジプト、ロシア、さらには、フランス、サウジアラビアです。皆さん、まさにシリアが戦場になったのと同じように、リビアも、様々な国の様々な利益の為に競技場です。トルコは、イスラエルからのガス配管を止めたいので、リビアとの調整が必要です。トルコはまた、リビアのガスと石油に与りたいと考えています。トルコはオスマン帝国の復興を望んでおり、リビアは、かつてその帝国の一部でした。ですからお分かりでしょう。トルコは留まるつもりで、そこに居ます。そして今、トルコは、リビアでいくつかのロケットと飛行機で完全武装しており、文字通り、トルコ軍の貨物機が、毎日そこに着陸しています。一方、ハリファ・ハフタルは、エジプトに助けを求めています。ロシアは、すでにそこに居て助けています。そしてフランスは、最近トルコの前哨基地と空軍基地を爆撃することで、彼を助けました。そして彼らは、トルコが持ち込んだ防空システムを破壊しています。それ以来、トルコは、別のものを持ち込みました。とにかく要点はこれです。大混乱です！ご覧の通り、2つの異なる政府が、その特定のものを制御しようとしています。

それで足りないのであれば、皆さん、その国の部族について。あちらのベルベル、トゥブ、それとタウレグ、思い出してください。「フォルクスワーゲン・タウレグ」は、この部族にちなんで、名付けられました。アルジェリアとナイジェリアとの国境の南西部にあります。したがって、それは民族的に非常に、非常に、非常に複雑で、政治的に超複雑です。それは帝国の対立です。ロシアは、そこにいたく、オスマン帝国は、そこにいたい。スンニ派トルコ人とスンニ派アラブ人との階級、エジプトは、そこに居て、トルコに「離れる」と言っています。そしてトルコは、もちろん、彼らの時代を取り戻したいのです。もう、めっちゃくちゃです。



では、なぜ私は、これすべてを言うのか？注目してください。リビアとスーダン、ロシア、トルコ、イランの両方に操作される2つの国になりつつあります。ロシア、トルコ、イランは、エゼキエル侵攻を先導し、彼らは、彼ら自身の目的の為に彼らが操作する他の2つの領域を使います。また、そこから侵略の一部を促進します。皆さん、理解する必要があります。驚くべきことです。2600年前のエゼキエルの方が、この地域の彼の説明では、10年前の新聞よりもずっと正確だったのです。カダフィ大佐がいる限り、聖書の預言の学者たちがリビアが侵略の一部であることについて話しても、それが可能になるとは、誰も想像もしませんでした。今日、リビアの状態を、見てください。今日、リビアが、これまで以上にその侵略の一部となる可能性が高いです。ですから、皆さん理解してください。世界中で多くの事が起こっています。多くのものが。しかし、すべてが正しい場所に収まっています。

さて、これらの指導者達は戦い、皆が皆を殺そうとしています。私達は知っている事の一部民族は民族に、国は国に敵対して立ち上がり。私達は、それを見ています。ちなみに民族、「エスノス」とは、民族に民族が敵対する。必ずしも国対国ではなく、民族、王国の敵対でもあります。つまり、国々の戦い、国内では民族が戦っています。その全てについての話で、私達は、それを、まさに目の前で見ています。リビアは、とても重要なことです。

さて、締めくくり皆さんにお見せしたいのは…今から画面で、あるものをご覧いただくので、20秒ほどの間にコメントを残してください。この植物を識別できるかどうか、見てみましょう。いいですか？識別できるかどうか見てみましょう。皆さんは、今、これを見ていて、そして私は皆さんの、すべてのコメントを見ています。この特定のものを識別できますか？どうでしょう。誰か、これを識別できますか？あと10秒、9…その通り！アーモンド、アーモンド、アーモンド、素晴らしい！なぜ、これを見させているのか？これは、アーモンドの枝です。皆さん、それを覚えていてください。では、このアーモンドの枝をお見せして、それから、この節を追加します。



エレミヤ書1:11-12の、この節。

「次のような主のことばが私にあった。『エレミヤ。あなたは何を見ているのか。』そこで私は言った。『アーモンドの枝を見ています。』すると主は私に仰せられた。『よく見たものだ。わたしのことばを実現しようと、わたしは見張っているからだ。』」(エレミヤ1:11-12)

では、なぜ、私はこの2つを紹介するのか。それはヘブライ語の「アーモンド」という言葉と「実現する準備ができている」という言葉は、同じ言葉だからです。(אֶמְנוּ)そしてそれが、神が、エレミヤにアーモンドの枝を示した理由です。彼は言われます。「見なさい。ちょうど、アーモンドが“シャケド”と呼ばれるのと同じように、確実に、あなたはそれを握ることができる。それは枝であり、それはアーモンドです。わたしは、わたしの言葉を実現する準備ができている。」

この天地は滅び去ります。しかし、わたしのことばは決して滅びることがありません。(マタイ24:35)

ほら、リビアは準備ができつつあり、ロシアは準備ができつつあります。トルコについて話しました。準備が出来つつあります。イランは準備が出来つつあります。たぶん来週、私はスーダンで起こっている事、誰が、そこで何をしているのかについて、お話しします。彼らは準備が出来つつあります。神は、御言葉を実行する準備ができています。国々は笑っています。しかし、神が、最後に笑います。国家は攻め込み、イスラエルを破壊するか、または、侵略して奪取しようと考えますが、最後の決定を下すのは神です。

私は、皆さんを励ましたいです。私達は、歴史が書かれている日々を生きています。歴史ができています。ノアの洪水以来、コロナウイルスで、今、私達が経験しているように、世界全体に影響を与えることは他にありませんでした。そして、皆さん、神が完全に支配されていることを知ってほしいのです。すべてが、う

まく調整されていること。そして、皆さん、理解してください。多くの場合、残念ながら、クリスチャンは恐怖を広めるといふ、とんでもない習慣に陥ってしまいます。見てください。イエスは、マタイ24章でこれらすべてを約束されました。彼は、これらすべてを約束されたのです。これらは産みの苦しみです。そして、産みの苦しみをみると、出産が来ることがわかります。しかし、すぐに分娩室に急いで赤ん坊に「出て来い！」と命じたりしません。ちなみに、それは出てきます。心配する必要はありません。私達は連れて行かれ、それはあつという間です。しかし、皆さんに言いたいのです。私達は、最も自信があり、幸せで、希望に満ち、活力に満ちているべき人々です。ある程度の自由が奪われたと思いますか？なら、あなたは、自由が何であるか、何も知りません。

「もし子があなたがたを自由にするなら、あなたがたはほんとうに自由なのです。」 (ヨハネ8:36)

「み子を持つ者は、本当に自由です。」それが、キリストにおける自由です。時々私達は、これは出来て、これが出来なかつたりしますが、あなたの内にキリストがあれば、それは何でもありません。皆さん、知っててください。時には、それが私達のDNAに反する事であっても、私達は政府に従う必要があつて、私達は、そうするように命じられているのです。聖書にそうあります。私が適当に言っているわけではありません。皆さん、言っておきますが、パウロがローマ13章を書いたとき、ローマ帝国がそこにいたのです。ローマ帝国はクリスチャンを破壊し、クリスチャンを排除し、すべてのクリスチャンを殺害したかったのです。なのに、パウロは言ったのです。「権威に従いなさい。」つまり、私達は覚えておかなければなりません。私達にとっては、人生が終わったわけではありません。これは、私達が飛躍する時です。世界中の人々が、とてもストレスを感じ、世界中の人々が、とても落胆していて、彼らが、とても不満なとき、私達は違うものである必要があります。私達は、完全に異なっている必要があります。私達は、彼らに示す必要があります。私達はキリストによって、どんなことでもできるのです。(ピリピ4:13) 私達は、彼らに示さなければなりません。これが出来ないなら、このやり方で出来る。このやり方で出来ないなら、このやり方で出来る。そうすれば、福音が宣べ伝えられます。そして、以前のように、ここで述べ伝えられないなら、この方法で出来る。そうすれば道が見つかります。福音を述べ伝える道は常にありますから。だから、皆さんを励ましたいのです。この地球の事柄に対処しないように、恐怖や恐れ、懸念、そういったものを広めないように。私達はイエス・キリストの時代以来、最も祝福された世代です。私達は滅びない世代です。心配しないでください。あなたが信者であるならば、あなたは反キリストを見ることはありません。あなたは、獣の印を受け取る必要はありません。あなたは、地上で、それを見ることすらないのです。あなたは今、これらのことについて心配する必要はありません。今、あなたが心配する必要のあるのは福音を広めることです。今、あなたが心配する必要のあるのは、私達が、今日、信者として生きるべき人生を生きることです。エレミヤ17章で、彼は、それらすべてをととても美しい方法で説明しています。ここにあります。エレミヤ17章7節で、彼は言います。

「主に信頼し、主を頼みとする者に祝福があるように。」 (7節)

政府や軍隊、そういったものではなく、私達の信頼は、主にあり、私達の希望は、主にあります。

「その人は、水のほとりに植わった木のように、流れのほとりに根を伸ばし、…」そしてこれを見てください。「暑さが来ても暑さを知らず、葉は茂って、日照りの年にも心配なく、いつまでも実をみのらせる。」 (8節)

これが、私達がすべきことです。コロサイ3章は、

「もし、あなたがたが、キリストととともによみがえらされたのなら、上にあるものを求めなさい。そこにはキリストが、神の右に座を占めておられます。」 (コロサイ3:1)

とにかく、覚えていてください。あなたの隣人があなたを見ています。あなたの家族、救われていない家族があなたを見ています。あなたの友達、救われていない友達があなたを見ています。そして、あなたの反応

の仕方が、彼らに示します。あなたの信仰が、どれほど本物なのか、あなたの神が、いかに本物であるか、あなたの救世主が、いかに本物であるか。私達がキリストの大使になりたいなら、私達は、彼のようにする必要がありま

父よ、あなたの御言葉に感謝します。あなたの御言葉は真実です。私達はあなたの言葉に従います。それが快適であろうと不快であろうと。父よ、私達は、これらの最後の日にあなたの御言葉に従いたいと思っています。そして、私達は恐れ、無力、絶望ではなく、希望、喜び、生命を放出したいです。父よ、救いの喜びを感謝します。あなたが、私達に与えてくださった豊かな人生を感謝します。キリストが、私達を、ここから連れ出してください、キリスト・イエスにある祝福された希望に感謝します。その間、私達は、力を与えてくださる主を通して、すべてのことができることを父に感謝します。私達はあなたに感謝し、あなたを祝福します。イエスの御名において。

アーメン

皆さんにお見せしたいのは、来週、私はエルサレムに行き、オリーブ山の垂訓について教えます。トピックはこれです。マタイ24-25は、多くのクリスチャンが間違っ



主があなたを祝福し、あなたを守られますように。
主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。
主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。
(民数記6:24~26 ヘブライ語)

主があなたを祝福し、あなたを守られますように。
主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。
主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。
(民数記6:24~26 英語)

唯一、平和の主である、平和の君からしか得られないすべての理解を超える平安が、いつでもどこでも、どこでも、COVID-19の間でも常にずっと、あなたに与えられますように。父よ感謝します。
イエスの御名によって。
アーメン

I love you !
神の祝福がありますように。
私達の為にお祈りくださり、ありがとうございます。
ガリラヤよりシャローム!

